



(題字 時澤 貢 学長)

第393号

(平成9年9月号)



▲ “夢大学 in TOYAMA '97 総合開会式 (平成9年9月13日 (土) : 地域共同研究センター前広場)

目 次

関係法令	3	◆ 富山地区国立学校技術職員研修を実施	11
学内規則	3	◆ 全国公務員レクリエーション共同行事富山地区ソフトボール大会で本学が健闘	13
諸会議	6	◆ 学内レクリエーション（ソフトボール大会、硬式庭球大会）を実施	13
学 事		◆ 海外渡航者	14
◆ 平成9年度民間等との共同研究受入れ状況	7	職員消息	
人事異動	8	◆ 住所変更	16
学内諸報		◆ 新任者住所	16
◆ “夢大学 in TOYAMA '97” を開催	9	主要行事	17
◆ 総合防災訓練を実施	10		
◆ 中華人民共和国山東工業大学と学部間学術交流協定を締結（工学部）	11		



▲ “夢大学 in TOYAMA '97” テープカット（左）と
富山商業高等学校生徒によるマーチングバンド演奏



▲ 「総合防災訓練」消火訓練

関 係 法 令

(政 令)

- 職員の兼業の許可に関する政令の一部を改正する政令(285)(平9.9.12 官報第2222号)
- 教育公務員特例法の一部を改正する法律の施行期日を定める政令(303)(平9.9.29 官報第2231号)
- 教育公務員特例法施行令の一部を改正する政令(304)(同上)

(府 令)

- 職員の兼業の許可に関する総理府令の一部を改正する総理府令(総理50)(平9.9.12 官報第2222号)

(省 令)

- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令(文部38)(平9.9.30 官報号外第198号)

- 国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令(同39)(同上)

(規 則)

- 人事院規則16-4(補償及び福祉事業の実施)の一部を改正する人事院規則(人事院16-4-17)(平9.9.1 官報号外第177号)
- 人事院規則17-0(管理職員等の範囲)の一部を改正する人事院規則(同17-0-47)(平9.9.25 官報2229号)

(告 示)

- 平成10年度科学研究費補助金の各種目の計画調書の提出期間等を定める件(文部152)(平9.9.1 官報第2213号)

学 内 規 則

富山大学大学院教育学研究科規則の一部改正

富山大学大学院教育学研究科規則の改正理由

教育学研究科保健体育専修の教育内容の充実を図るため、所要の改正を行う。

富山大学大学院教育学研究科規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成9年9月19日

富山大学長 時 澤 貢

富山大学大学院教育学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院教育学研究科規則(平成6年3月31日制定)の一部を次のように改正する。

「 体育学特論演習Ⅲ | | 2 | を

別表第1(第3条関係)(2)教科教育専攻⑥保健体育専修の体育学の項中

「	体育学特論演習Ⅲ	2	に改める。
	体育学特論Ⅳ	2	
	体育学特論演習Ⅳ	2	
」			

附 則

この規則は、平成9年9月19日から施行する。

富山大学大学院工学研究科規則の一部改正

富山大学大学院工学研究科規則の改正理由

工学研究科博士後期課程の教育内容の充実を図るため、所要の改正を行う。

富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成9年9月19日

富山大学長 時 澤 貢

富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院工学研究科規則（平成6年3月31日全部改正）の一部を次のように改正する。

別表2（博士後期課程）システム生産工学専攻の項中

「	符号理論特論	2	を
	符号理論特論	2	に改め、
	画像通信特論	2	
」			

「	応用磁気材料学特論	2	に、
	機能性材料化学特論	2	
」			

「	遺伝子工学特論	2	を
	遺伝子工学特論	2	に
	遺伝情報工学特論	2	
」			

改める。

同表物質生産工学専攻の項中

「	応用磁気材料学特論	2	を
」			

附 則

この規則は、平成9年9月19日から施行する。

富山大学環日本海地域研究センター規則の制定

富山大学環日本海地域研究センター規則の制定理由

富山大学に、学内共同利用施設として富山大学環日本海地域研究センターを置くことに伴い、所要事項を定める。

富山大学環日本海地域研究センター規則を次のとおり制定する。

平成9年9月19日

富山大学長 時 澤 貢

富山大学環日本海地域研究センター規則

(設置)

第1条 富山大学（以下「本学」という。）に、富山大学環日本海地域研究センター（以下「センター」という。）を置く。

(目的)

第2条 センターは、環日本海地域に関する学術的、総合的地域研究を行うとともに環日本海地域との学術交流の推進を図り、もって本学の教育研究並びに環日本海地域の発展に資することを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、環日本海地域に関する次の業務を行う。

- (1) 調査・研究の実施，研究成果の公表
- (2) 文献・資料の収集・整理
- (3) 研究会，ワークショップ，シンポジウムの開催
- (4) 公開講演会，公開講座の開催
- (5) その他センターの目的達成に必要な事業

(組織)

第4条 センターにセンター長を置く。

- 2 前項に規定する者のほか，センターの運営に必要な職員を置くことができる。
- 3 センター長は，本学の教授のうちから第5条に定める運営委員会の推薦に基づき，学長が命ずる。
- 4 センター長は，センターの業務を掌理する。
- 5 センター長の任期は，2年とし，再任を妨げない。

(運営委員会)

第5条 センターに，センターの管理及び運営に関する重要事項を審議するため，富山大学環日本海地域研究センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

第6条 運営委員会は，次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 管理運営の基本方針に関すること。
- (2) 事業の計画及び実施に関すること。
- (3) センター長の推薦に関すること。
- (4) 予算概算の方針に関すること。

(5) その他センターに関し必要な事項

第7条 運営委員会は，次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) 各学部から選出された教授又は助教授 各1人
(経済学部にあつては4人)

2 前項第2号の委員は，学長が委嘱する。

3 第1項第2号の委員の任期は2年とし，再任を妨げない。ただし，欠員が生じた場合の後任の委員の任期は，前任者の残任期間とする。

第8条 運営委員会に委員長を置き，センター長をもって充てる。

2 委員長は，運営委員会を招集し，その議長となる。ただし，委員長に事故あるときは，委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

第9条 運営委員会は，委員の半数以上が出席しなければ開会できない。

2 議事は，出席者の過半数をもって決する。ただし，可否同数のときは，議長がこれを決する。

(意見の聴取)

第10条 運営委員会が必要と認めるときは，委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(専門委員会)

第11条 運営委員会に，専門的事項を検討するため，必要に応じて専門委員会を置く。

2 専門委員会に関し必要な事項は，運営委員会の議を経て，センター長が定める。

(雑則)

第12条 この規則に定めるもののほか，センターの運営に関し必要な事項は，運営委員会の議を経て，センター長が定める。

(庶務)

第13条 センターの庶務は，当分の間，経済学部事務部において処理する。

附 則

この規則は，平成9年10月1日から施行する。

諸 会 議

第 5 回日本海経済研究センター（仮称）設置準備委員会 （9月2日）

（審議事項）

- (1) 日本海経済研究センター（仮称）の設置について
- (2) その他

第 6 回評議会（9月8日） （議 題）

- (1) 学内搜索について

第 7 回評議会（9月8日） （議 題）

- (1) 学内搜索について

第 3 回学生生活協議会（9月9日） （審議事項）

- (1) 文化部会長及び体育部会長の選出について
- (2) 新入生の行事日程等について
- (3) 平成9年度厚生補導研究会について
- (4) 第2大学食堂（工学部食堂）食堂ホール席数増設について
- (5) 学生の課外活動への配慮について
- (6) 平成10年度入学合格者へのダイレクトメール送付に係るあて名の書き写しについて
- (7) その他

第 3 回開学50周年記念事業委員会（9月11日） （審議事項）

- (1) 開学50周年記念事業について
- (2) その他

第104回構内交通対策委員会（9月12日） （議 題）

- (1) 交通指導員等による交通安全一斉指導及び無許可車両・駐停車違反車両の一斉取締りの実施について
- (2) 第1回実施要項見直し小委員会の報告について
- (3) 実施要項見直し小委員会への付託事項について
- (4) 他大学への「構内交通対策等についてのアンケート」結果について
- (5) その他

第 6 回日本海経済研究センター（仮称）設置準備委員会 （9月16日）

（審議事項）

- (1) 環日本海地域研究センターの設置について
- (2) その他

第 2 回学寮委員会（9月16日） （審議事項）

- (1) 寮生からの要求について（炊婦の雇用等について）
- (2) その他

第 1 回組換えDNA実験安全委員会（9月16日） （審議事項）

- (1) 委員長の推薦について
- (2) 組換えDNA実験（機関承認実験）について
- (3) その他

第 5 回部局長懇談会（9月19日） （議 題）

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

第 3 回大学院委員会（9月19日） （審議事項）

- (1) 富山大学大学院教育学研究科規則の一部改正について
- (2) 富山大学大学院工学研究科規則の一部改正について
- (3) 学生の除籍について
- (4) その他

第 8 回評議会（9月19日） （審議事項）

- (1) 富山大学大学院教育学研究科規則の一部改正について
- (2) 富山大学大学院工学研究科規則の一部改正について
- (3) 富山大学環日本海地域研究センターの設置（答申）について
- (4) 富山大学環日本海地域研究センター規則の制定について

- (5) 学生の除籍について
(6) その他

- いて
(3) その他

第1回自己点検評価委員会（9月19日）

（審議事項）

- (1) 平成9年度自己点検評価について
(2) その他

第4回事務協議会（9月24日）

（議 題）

当面の諸課題について

第2回生涯学習教育研究センター運営委員会（9月24日）

（議 題）

- (1) 富山大学生涯学習教育研究センター自己点検評価委員会内規の制定について
(2) 大学開放に関する本学教員のアンケート調査につ

第3回教務委員会（9月26日）

（審議事項）

- (1) 学籍管理サブシステムの試行について
(2) 学年暦の改善方策等について
(3) カリキュラムの編成について
(4) その他

学

事

平成9年度 民間等との共同研究受入れ一覧

平成9年4月～9月

区分	研 究 題 目	民 間 機 関 名	大学側研究代表者
A	超格子ヘテロ接合型圧力センサの開発	立山マシン株式会社	工学部教授 龍山 智榮
〃	風力発電システムの高性能化に関する基礎研究	北陸電力株式会社地域総合研究所	工学部教授 作井 正昭
B	船舶用軸受材のメタルライニングの改善	日本マリンテクノ株式会社富山工場	工学部教授 佐治 重興
〃	Al-Mg-Si 合金の熱処理におけるMg ₂ Siの挙動	YKK株式会社黒部事業所	工学部教授 池野 進
〃	低Mg押出合金の開発	新日軽株式会社北陸製造所	工学部教授 池野 進
〃	アルミニウム合金のメタルフローに関する基礎研究	立山アルミニウム工業株式会社	地域共同研究センター助教授 高辻 則夫
〃	薄肉幅広押し成形材の品質向上に関する研究	富山軽金属工業株式会社	工学部教授 松木 賢司
〃	トンネル内貯雪による雪利用の研究	北陸電力株式会社地域総合研究所	理学部教授 對馬 勝年
〃	中空押出材の接合強度に関する研究	アイシン軽金属株式会社	地域共同研究センター助教授 高辻 則夫
〃	極低温超伝導材料の開発	大平洋製鋼株式会社富山製造所	理学部教授 石川 義和
〃	自動化・省力化設備構造用キットの特性解析	エヌアイシ・オートテック株式会社	工学部教授 小泉 邦雄
〃	水の分子集団の大きさから見た水の測定及び考察	富 山 県	工学部教授 長谷川 淳
〃	環状シヤナミド類の熱特性と防燃機構に関する研究	日産化学工業株式会社富山工場	工学部教授 島崎長一郎
〃	多孔性セルロース微粒子の機能化と特性解析に関する研究	レンゴー株式会社	工学部教授 北野 博巳
〃	炭化水素類のバクテリア酸化に関する研究	荒川化学工業株式会社	工学部教授 井上 正美
〃	超硬合金の押出成形及び素材の特性評価に関する研究	東京タングステン株式会社	工学部教授 池野 進
〃	装飾めっきに関する研究	株式会社桑山貴金属	工学部助教授 蓮覚寺聖一
〃	チタン基体上へのゾルゲル法による修飾電極作製	日本カーリット株式会社	工学部助教授 蓮覚寺聖一
〃	火力プラント高温強度部材の寿命診断手法の開発に関する研究	北陸電力株式会社地域総合研究所	工学部教授 塩澤 和章
〃	澱粉糊の老化の構造変化と糊の分解作用の研究	ヤヨイ化学工業株式会社	工学部教授 島崎長一郎
〃	超硬素地上のTiAlN及びTiNのエッチングの研究	株式会社不二越	工学部助教授 蓮覚寺聖一
〃	有機EL薄膜素子の研究	北陸電気工業株式会社	工学部教授 女川 博義
〃	スメクチック液晶を用いたデジタル光スイッチ素子の研究	立山科学工業株式会社	工学部教授 女川 博義
〃	積層箔の繰り返し圧下によるメカニカルアロイング	大同工業株式会社製品企画部	工学部教授 佐治 重興

* 共同研究の区分

- A : ① 国立学校において、民間機関等から研究者及び研究経費等を受け入れ、国立学校においても直接経費の一部を負担し、このため別途共同研究費（校費）の配分を要する場合
 ② 国立学校及び民間機関等において共通の課題について分担して行う研究で、民間機関等から研究者及び研究経費等、又は研究経費等を受け入れ、国立学校においても直接経費の一部を負担し、このため別途共同研究費（校費）の配分を要する場合
- B : ① 国立学校において、民間機関等から研究者及び研究経費等を受け入れて実施するもので、国立学校においては直接経費の負担を要しないか、直接経費の一部を負担しても別途共同研究費（校費）の配分を要しない場合
 ② 国立学校及び民間機関等において共通の課題について分担して行う研究で、民間機関等から研究者及び研究経費等、又は研究経費等を受け入れ、国立学校においては直接経費の負担を要しないか、直接経費の一部を負担しても別途共同研究費（校費）の配分を要しない場合
- C : 国立学校において、民間機関等から研究者の受け入れのみを行い、研究の内容、性格から直接経費の措置を要しない場合

* 年度別実施件数(過去5年間)

	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
区分A	3件	4件	2件	3件	4件
区分B	23件	20件	23件	24件	31件
区分C	5件	3件	5件		1件
計	31件	27件	30件	27件	36件

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
採 用	9.10.1	西 村 隆		講 師 (人文学部)
	〃	近 藤 和 哉		講 師 (経済学部)
	〃	籠 宗 和		技能補佐員 (研究支援推進員) (水素同位体機能研究センター)
	〃	西 田 洋 子		〃 (〃) (〃)
昇 任	9.10.1	末 岡 宏	助 手 (京都大学大学院文学研究科)	助教授 (人文学部)
	〃	森 岡 裕	助教授 (経済学部)	教 授 (経済学部)
	〃	丹 羽 功	助 手 (京都大学大学院法学研究科)	講 師 (〃)
	〃	大 谷 潔	文部省体育局生涯スポーツ課課長補佐	経理部長
転 任	9.10.1	橋 爪 和 夫	助教授 (福井工業高等専門学校)	助教授 (教育学部)
	〃	瀧 敦 弘	助教授 (経済学部)	助教授 (広島大学経済学部)
配 置 換	9.10.1	安 村 勉	教 授 (経済学部)	教 授 (金沢大学法学部)
	〃	斉 藤 敏	経理部長	弘前大学経理部長
臨時的任用	9.9.16	小 山 博 子		助 手 (経済学部) (~10.7.2)

学内諸報

夢大学 in TOYAMA '97 を開催

去る9月13日(土)、14日(日)の2日間にわたり、“夢大学 in TOYAMA '97”を開催しました。大学開放事業として、平成4年から毎年実施し、今年で6回目の開催となりました。

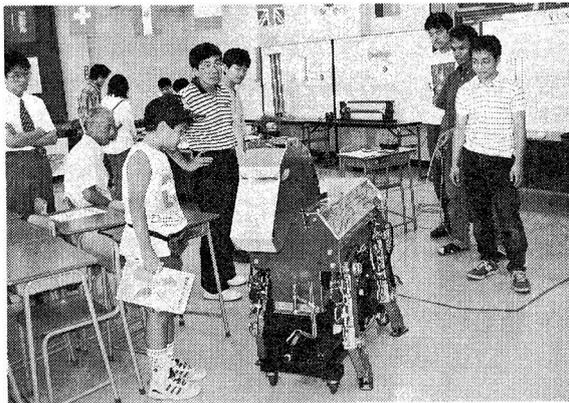
この事業は、地域に開かれた大学として、「小・中・高校生等青少年には大学の教育研究に触れる機会を設け、科学技術等に興味・関心をもってもらふこと」、「企業技術者には、教官と交流を深め、今後の産学交流の進展の弾みとしてもらうこと」、「市民一般の方々には大学の現状を理解してもらうこと」を目的として、体験入学と実験等パネル展示を行うものです。

初日13日(土)は、小雨の中、テープカットに続き、総合開会式が行われ、時澤学長の挨拶、来賓祝辞のあと、富山商業高等学校の生徒によるマーチングバンド演奏で華々しくオープンしました。

体験入学は、1日間又は2日間の企画で、中・高校生

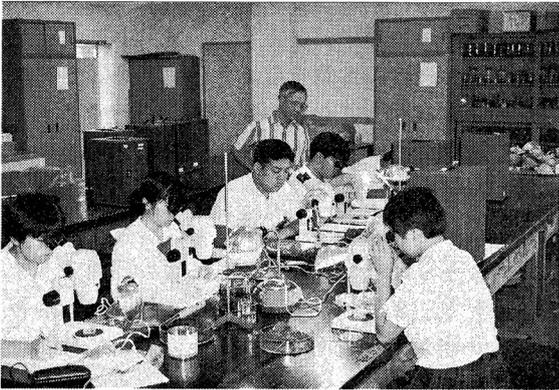
等青少年対象の講座と学校教員及び社会人対象の講座が26講座開設され、県内、県外から304人の参加者がありました。それぞれの講座に分かれて、教官の指導のもと、実験・実習等を体験し、終了後、閉講式が経済学部201教室で行われ、夢大学学位記が授与されました。

実験等パネル展示は、工学部、地域共同研究センター、経済学部、附属図書館を会場として、多彩で興味深い39のテーマが取り上げられ、親子連れなどたくさんの方々は、最先端の研究内容を教官、大学院生等から、分かり易く説明・紹介を受け、大変好評でした。特に、「感動の出会い! つくる喜び」コーナーのキーホルダー作りは、順番待ちにもかかわらず、何回も挑戦する子供達で終日盛況で、2日間(2日目は附属図書館会場のみ)で1,479人の参加者があり、大学の教育研究内容を地域の人々に理解していただく絶好の機会となりました。





小・中学生や親子連れなどで盛況のイベントコーナー



体験入学

消防査察，総合防災訓練を実施

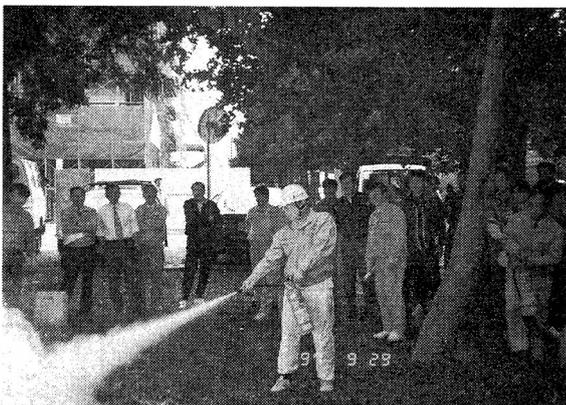
去る9月25日（木）、26日（金）の2日間、富山消防署の消防査察があり、危険物施設の点検、避難経路の確認及び電気器具の配線が十分であるかなどの安全チェックが実施されました。

29日（月）には、教職員の防火思想の普及と啓蒙を図るため、富山大学総合防災訓練を実施し、午前中は事務局庁舎前で消火訓練（消火器及び屋内消火栓による消火訓練）を行い、午後からは黒田講堂ホールで防災教育講演会、ビデオ上映、避難訓練及び救護訓練を行いました。救護訓練では、搬送訓練及び人体模型を利用した「人工

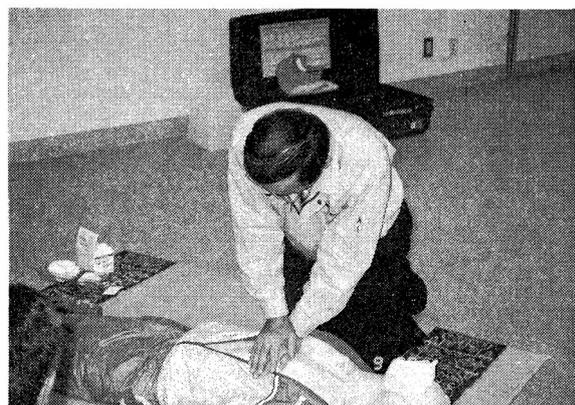
呼吸」、「心臓マッサージ」などの実技体験訓練を実施しました。

また、災害に万全を期すため、黒田講堂会議室において教職員を対象とした、普通救命資格取得講習会を開催し、救急救命士による講義と「人工呼吸」、「心臓マッサージ」の実技を50人が受講しました。

受講者は、実技を続けるうちに次第に上達し、最後に行われた個々の効果測定試験では、受講者全員が合格し、「普通救命講習修了証」の交付を受けていました。



▲ 消火器による消火訓練



▲ 普通救命資格取得講習会での心臓マッサージ

工学部，中華人民共和国山東工業大学と学部間学術交流協定を締結

工学部では，去る 9 月16日（火）に中華人民共和国山東工業大学との間で，学術交流に関する協定（学部間）を締結しました。

調印式には，宮下工学部長をはじめ，佐治教授，塩澤教授，中川事務長，地崎用度係長の 5 名が出席し，山東工業大学において宮下工学部長と鄒増大学長が協定書に署名し，今後の交流の躍進を誓い合いました。

山東工業大学は，山東省済南市にあり，11の工学系学科と外国語学科及び政治行政学科等を有する，学生数8,300人の省立の総合大学で，特に国際交流には積極的で，今回の協定締結にも大きな期待を寄せており，訪問団は熱烈な歓迎を受けました。

なお，今後の日程としては，山東工業大学から鄒増大学長ほか 3 名が来る10月27日（月）から 3 日間本学工学部を訪れ，学術交流協定の実施に関する打合せを行い，覚書を取り交わす予定になっています。



▲ 協定書に署名する宮下工学部長（左）と鄒増大山東工業大学長

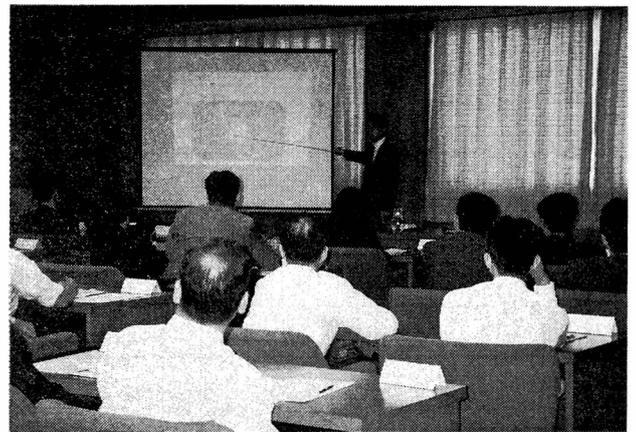
第 6 回（平成 9 年度）富山地区国立学校技術職員研修を実施

去る 9 月30日（火）事務局大会議室において，第 6 回（平成 9 年度）富山地区国立学校技術職員研修を，富山県内 4 機関から34人が参加して実施しました。

この研修は，その職務に必要な知識，技術を修得させるとともに，相互啓発の機会を与えることにより，職務遂行に必要な能力，資質の向上を図るもので，平成 4 年度より本学を当番校として毎年実施しており，研修内容は，講義 2 コマのほか，日ごろ苦勞して行っている実験等の成果をまとめて発表する「技術発表」となっています。

受講生から発表者に対し，専門的な質問がどんどん出され，また，活発な意見交換もあり有意義な研修となりました。

なお，日程及び受講者は次のとおりです。



▲ 講義「遺伝子工学と発生工学の最近の話題」

第 6 回（平成 9 年度）富山地区国立学校技術職員研修日程表

9 : 00		10 : 00		11 : 00		12 : 00		13 : 00		14 : 00		15 : 00		16 : 00		17 : 00	
9 月 30 日 (火)	開 講 式	オリエンテーション	講 義 「機械産業の発展とその要因」	技術発表 4 名	昼 食	技術発表 7 名	休 憩	講 義 「遺伝子工学と発生工学の最近の話題」	富山大学工学部助教授 磯部 正 治	閉 講 式	移 動	懇 親 会					

受 講 者 名 簿

No.	機 関 名	所 属	氏 名	備 考
1	富山医科薬科大学	研究協力課 総 務 係	森 腰 正 弘	技術発表
2	〃	〃 〃	川 原 昌 彦	
3	〃	〃 〃	恒 田 則 子	
4	〃	〃 〃	野 手 姫代美	
5	富山工業高等専門学校	学 生 課 技 術 教 育 係	中 村 敏 郎	技術発表
6	〃	〃 〃	惣 名 敏 夫	
7	〃	〃 〃	釣 健 孝	
8	富山商船高等専門学校	庶 務 課 実 験 実 習 第 二 係	吉 本 勝 治	
9	富 山 大 学	教 育 学 部 化 学 教 室	奥 田 都	
10	〃	庶 務 課 学 事 調 査 係	高 塚 清 文	技術発表
11	〃	人 文 ・ 理 学 部 ガ ラ ス 工 作 室	岩 城 廣 光	
12	〃	水素同位体機能研究センター	原 正 憲	
13	〃	総合情報処理センター	豊 本 勉	技術発表
14	〃	〃	川 原 智 徳	
15	〃	工 学 部 電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科	高 安 勇 吉	
16	〃	〃 〃	北 村 岩 雄	
17	〃	〃 〃	柴 田 幹	
18	〃	〃 〃	本 田 和 博	
19	〃	〃 知 能 情 報 工 学 科	丸 山 博	
20	〃	〃 〃	大久保 篤 志	技術発表
21	〃	〃 物 質 生 命 シ ス テ ム 工 学 科	井 澤 真 由 美	技術発表
22	〃	〃 機 械 知 能 シ ス テ ム 工 学 科	高 瀬 博 文	
23	〃	〃 〃	渡 辺 秀 一	技術発表
24	〃	〃 〃	室 谷 和 雄	技術発表
25	〃	〃 〃	大 山 達 雄	
26	〃	〃 〃	友 坂 敏 信	
27	〃	〃 〃	桐 昭 弘	技術発表
28	〃	〃 物 質 生 命 シ ス テ ム 工 学 科	中 村 善 志	
29	〃	〃 工 場 係	谷 口 泰 一	
30	〃	〃 〃	藤 岡 和 典	
31	〃	〃 〃	中 尾 良 行	技術発表
32	〃	〃 〃	二 宮 英 治	
33	〃	〃 〃	高 村 浩 之	技術発表
34	〃	〃 〃	山 田 聖	

平成9年度全国公務員レクリエーション共同行事 富山地区ソフトボール大会で本学が健闘

去る9月3日（水）常願寺川公園野球場において、富山医科薬科大学が世話機関となり、平成9年度全国公務員レクリエーション共同行事富山地区ソフトボール大会が開催されました。

本大会には11機関から14チームの参加があり、本学からもA、B、Cの3チームが参加し、2年連続優勝を目指しましたが、惜しくも準決勝で惜敗しました。

なお、大会の成績は次のとおりです。

優 勝	富山地方（家庭）裁判所チーム
準優勝	富山工業高等専門学校チーム
3 位	富山大学Aチーム
3 位	富山医科薬科大学Aチーム



<ソフトボール大会>

本学レクリエーション委員会体育部会ソフトボール班、文部省共済組合富山大学支部共催による平成9年度部局対抗ソフトボール大会が、7月31日から9月5日までの間、本学グラウンドで8チームによる熱戦が繰り広げられました。

なお、成績は次のとおりです。

優 勝	工学部チーム
準優勝	経理部チーム

<硬式庭球大会>

本学レクリエーション委員会体育部会庭球班、文部省共済組合富山大学支部共催による平成9年度学内硬式庭球大会が、さる9月20日（土）本学軟式庭球場において行われました。

台風一過の秋空の下、約40人の参加者があり、男子5チーム（部局対抗のダブルスによる団体戦）及び女子4チーム（ダブルスによる個人戦）による熱戦が繰り広げられ、人文学部の2年連続優勝で幕を閉じました。

なお、成績は次のとおりです。

○男子（団体戦）

優 勝	人文学部チーム
準優勝	教育学部チーム

○女子（個人戦）

優 勝	奥田（教育）・山中（教育）
準優勝	長崎（本部）・三浦（人文・理）

海外渡航者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	人文学部	講 師	岸 田 文 隆	大 韓 民 国	朝鮮司訳院訳学書の書誌学的・言語学的研究	9.9.1 } 10.3.31
	理学部	教 授	高 木 光 司 郎	連 合 王 国	第15回高分解能分子分光コロキウムに出席, 研究発表等	9.9.5 } 9.9.19
	〃	教 授	常 川 省 三	〃	〃	〃
	工学部	講 師	堀 田 裕 弘	ド イ ツ フ ラ ン ス 連 合 王 国	画像符号化シンポジウム(PcS97)に出席, 研究発表, 調査研究	9.9.7 } 9.9.21
	経済学部	助教授	森 岡 裕	ロ シ ア 連 邦	「環日本海地域の開発と環境」に関する資料及び情報の収集	9.9.9 } 9.9.12
	工学部	助教授	川原田 淳	フ ラ ン ス	国際医用物理・生体工学会議に出席, 研究発表	9.9.11 } 9.9.22
	教育学部	助教授	広 瀬 信	連 合 王 国	「19世紀イギリスにおける科学者・技術者養成システムの研究」についてレビューを受けるため	9.9.13 } 9.9.28
	工学部	教 授	宮 下 尚	中 華 人 民 共 和 国	山東工業大学との学术交流に関する協定等の締結等	9.9.13 } 9.9.20
	〃	教 授	塩 澤 和 章	〃	〃	〃
	〃	教 授	佐 治 重 興	〃	〃	〃
	〃	事務長	中 川 巖	〃	〃	〃
	〃	用度係長	地 崎 昇	〃	〃	〃
	経済学部	助教授	瀧 敦 弘	中 華 人 民 共 和 国	中国の環境汚染の地域的拡散防止のための環境政策と我が国の経済協力の在り方に関する調査	9.9.15 } 9.9.26
	理学部	助 手	辻 瑞 樹	イ ン ド ネ シ ア	ボゴール植物園等における野外調査	9.9.16 } 9.10.16

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	理学部	教授	山田 恭司	シンガポール	第5回国際植物分子生物学会に出席，研究発表	9.9.19) 9.9.27
	〃	助手	宮崎 隆文	アメリカ合衆国	3rd World Congress on Oxidation Catalysis に出席，研究発表	9.9.20) 9.9.28
	経済学部	教授	滝川 敏明	連 合 王 国	企業関連法制度が企業経営に与える影響についての総合研究に関する情報及び資料の収集	9.9.21) 9.10.4
	人文学部	教授	藤本 幸夫	中華人民共和国	「東アジアにおける18世紀のコンピュータ民族学的研究」についての研究討論会に出席，研究発表，資料調査	9.9.28) 9.10.11
	〃	助教授	前川 要	ベルギー	中世ヨーロッパブルージュエ-中世及びその後の考古学に関する国際会議-に出席，研究発表	9.9.28) 9.10.6
	教育学部	助教授	後藤 敏伸	フランス スウェーデン	都市環境における造形に関する研究	9.9.30) 10.7.31
海外研修	人文学部	講師	山本 富美子	中華人民共和国	黒龍江大学等にて研究打合せ，資料収集	9.9.1) 9.9.20
	工学部	教授	坂井 純一	オーストラリア	宇宙プラズマに関する共同研究	9.9.1) 9.10.1
	教育学部	助教授	市川 文彦	フランス	EU域内外の商品流通システムに関する国際比較研究	9.9.4) 9.10.2
	理学部	助教授	石岡 努	スペイン	第7回生物分子分光学ヨーロッパ会議に出席	9.9.6) 9.9.13
	〃	助教授	細野 忍	アメリカ合衆国	カラビ・ヤウ多様体のミラー対称性に関する研究	9.9.6) 9.10.8
	経済学部	教授	八木 保夫	連 合 王 国	オックスフォード大学におけるイギリス行政法の研究	9.9.7) 9.12.19
	教育学部	教授	竹内 茂彌	ド イ ツ	ドイツの都市におけるゴミ処理状況の調査及び資料収集	9.9.11) 9.9.18
	理学部	助教授	大藤 茂	ロシア連邦 大韓民国	ロシア沿海州地域の中・古生層の地質調査及び東アジアの地質構造発達史に関する国際シンポジウムに参加等	9.9.12) 9.9.27
	教育学部	教授	山西 潤一	カナダ	情報技術教育に関する調査研究及び資料収集	9.9.14) 9.9.24

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
海外研修	工学部	教授	熊沢英博	フィリピン	最近の生物化学技術に関する会議 に出席，研究打合せ，助言	9.9.14) 9.9.20
	教育学部	教授	山下三郎	連合王国 ドイ ツ	体育科教育に関する調査研究及び 資料収集	9.9.16) 9.10.13
	工学部	教授	河崎善司郎	連合王国 ス ペ イ ン	マルチメディア利用の言語教育会 議に出席，研究発表，資料収集， 研究討論等	9.9.18) 9.10.5
	人文学部	助教授	村井文夫	フランス	18世紀フランスにおける反啓蒙主 義に関する文献調査	9.9.19) 9.10.4
	理学部	助教授	若杉達也	シンガポール	第5回国際植物分子生物学会議に 出席，研究発表	9.9.19) 9.9.28
	経済学部	助教授	角森正雄	アメリカ合衆国	少額裁判制度を中心としたアメリ カ合衆国民事訴訟法の資料収集	9.9.22) 9.10.12
	〃	助教授	秋葉悦子	イタリア	バイオエシックスに関する調査及 び資料収集	9.9.26) 9.10.9

職 員 消 息

<住所変更>

部局名	官職	氏名
経済学部	助教授 (応用経済学)	垣田直樹
〃	助手 (応用経営)	山上嘉江

<新任者住所>

部局名	官職	氏名
経済学部	助手 (政策科学)	小山博子

主 要 行 事

本 部

- 9月1日 第5回外国語及び保健体育検討小委員会
1日~26日 部局対抗野球大会
3日 平成9年度全国公務員レクリエーション共同
行事富山地区ソフトボール大会(常願寺川公
園)
4日 第5回教養教育委員会管理運営専門委員会
5日 第3回自己点検評価委員会教育活動専門委員
会
7日 外国人留学生の進学説明会(大阪マーチャ
ンサイズ・マート)
8日 秋の国立学校経理部課長会議(東京医科歯科
大学)
9日 第4回自己点検評価委員会研究活動等専門委
員会
第4回国際交流委員会留学生部会
第13回教務委員会専門委員会
10日 第5回自己点検評価委員会管理運営専門委員
会
10日~11日 平成9年度体育系サークルリーダー研修会
(国立能登青年の家)
11日 自己点検評価委員会委員長と3専門委員会主
査・副主査の打合せ会
13日 外国人留学生の進学説明会(池袋ワールドイ
ンポートマート)
13日~14日 大学開故事業(夢大学 in TOYAMA '97)
18日 平成9年度東海・北陸地区管理事務協議会
(福井ワシントンホテル)
18日~19日 メンタルヘルス研究協議会
19日 第56回東海・北陸地区国立学校等庶務部課長
会議(福井ワシントンホテル)
第6回教養教育委員会管理運営専門委員会
20日 学内硬式庭球大会
22日 平成9年度富山共済組合支部連絡会議ソフト
ボール大会(常願寺川公園)
25日 平成9年度大学入試広報セミナー(東京朝日
ホール)
25日~26日 夜間教育実施国立大学事務局長会議(岐阜大
学)
平成9年度東海・北陸・近畿地区国立学校等

- 広報文書研究協議会(ホテルアソシア豊橋)
消防査察
29日 国立大学協会第7常置委員会(国立大学協会)
第6回外国語及び保健体育検討小委員会
富山大学総合防災訓練
第6回自己点検評価委員会管理運営専門委員
会
第5回自己点検評価委員会研究活動等専門委
員会
30日 第6回富山地区国立学校技術職員研修

人 文 学 部

- 9月4日 予算委員会
5日 学部自己点検評価委員会
学部将来計画委員会
8日 独立大学院(人文・経済合同)委員会
学部教務委員会
9日 学部入学者選抜方法検討委員会
学部就職指導委員会
10日 教授会
教授会(人事)
人文科学研究科委員会
16日 平成9年度後学期授業時間割担当者会議
18日 学部自己点検評価委員会
特別昇給委員会
22日 学部教務委員会
24日 教授会
教授会(人事)
人文科学研究科委員会
30日 学位記授与式

教 育 学 部

- 9月1日 附属養護学校及び附属幼稚園第2学期始業式
2日 教育実習運営協議会
教育学研究科委員会小委員会
附属中学校学校祭
3日 学部教務委員会
学部学生生活委員会
教育学研究科委員会

教授会

人事教授会

学部教務・学生生活合同委員会

9日 学部就職指導委員会

10日 学部入学試験委員会

22日 附属学校運営委員会

24日 学部教務委員会

25日～26日 平成9年度北陸地区教員養成学部事務長協議会（信州大学教育学部）

工 学 部

9月2日 大学院工学研究科博士後期課程入学試験

2日～3日 大学院工学研究科博士前期課程入学試験

4日 教室の一時使用に関する検討会

5日 情報処理委員会（仮称）

9日 学生生活委員会

10日 教授会

工学研究科委員会

博士後期課程委員会

学部運営委員会

11日 大学院工学研究科合格発表

16日 情報処理委員会（仮称）

中華人民共和国山東工業大学と学術交流協定締結（学部間協定）（山東工業大学）

19日 学部教務委員会

22日 学部入学試験検討委員会

24日 教授会

工学研究科委員会

博士後期課程委員会

25日～26日 第21回国立大学50工学系学部長会議総会（岩手大学）

30日 学位記授与式

経 済 学 部

9月1日 学部教務委員会

2日 大学院研究科委員会小委員会

3日 人事教授会

経済学研究科委員会

教授会

8日 独立大学院博士課程設置に伴う合同打合せ会

10日 学部入学方法検討委員会

16日 学部教務委員会

大学院研究科委員会小委員会

17日 人事教授会

経済学研究科委員会

教授会

24日 大学院経済学研究科入学試験

25日 助手室業務運営委員会

学部施設整備委員会

地域共同研究センター

9月1日～5日

先端技術研修（ファインメカトロニクスコース）

5日 地域共同研究センター運営委員会

13日～14日 大学開放事業（夢大学 in TOYAMA '97）

29日～10月9日

先端技術研修（情報処理コース）

理 学 部

9月4日 学科長会議

4日～5日 大学院理学研究科（修士課程）入学者選抜検査

8日 理学研究科教務検討小委員会

10日 理学研究科委員会

教授会

人事教授会

17日 予算委員会

学部教務委員会

学科長会議

施設委員会

24日 学部入試改善委員会

排水安全委員会

学部情報化対策委員会（持ち回り）

30日 学部学生生活委員会

生涯学習教育研究センター

9月13日～12月6日

東海・北陸地区大学放送公開講座

テレビ講座「果物・野菜散歩」

編 集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 あけぼの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電話 (24)1755(代)